

ぶらり柴又まち歩き

「フーテンの寅」こと寅さんを主人公とした「男はつらいよ」シリーズの舞台として知られる下町、柴又。

柴又帝釈天や参道商店街を中心に、昭和情緒の雰囲気を感じられる街をガイドさんに案内してもらいながら、散策しましょう♪

催行日時

令和7年11月27日(木) 10:00~12:00

講師

葛飾区シニア観光ボランティアガイド かつしか語り隊

費用

無料

※現地までの交通費等は各自ご負担ください。

※各施設の入場料はかかりません。



定員

先着20名 原則船橋市在住の成人の方

お申込は10月2日(木)10時から 窓口または電話にて受付

※小雨決行

※現地集合・現地解散で昼食はございません



集合～出発まで

🌸 集合時間：10:00

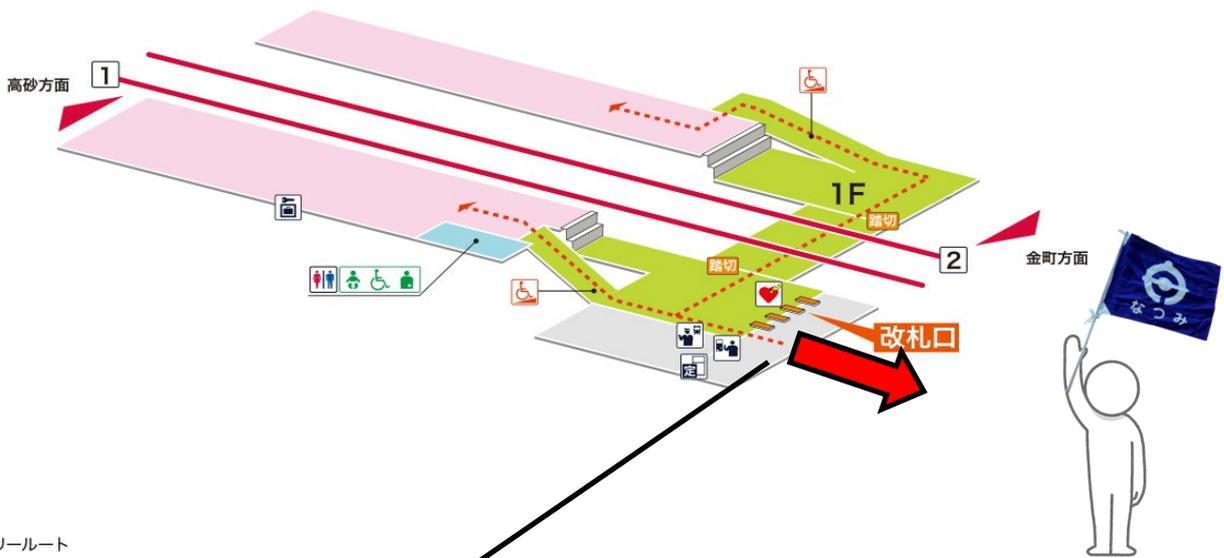
🌸 集合場所：京成電鉄京成金町線柴又駅
改札出て正面 寅さん像前

※寅さん像前に引率旗を持った職員がいます。
そちらで名前をおっしゃってください。



- 1 高砂方面
- 2 金町方面

柴又駅構内図





行程詳細

1. 柴又帝釈天 参道

柴又駅から帝釈天境内入口にある「二天門」に続く200メートルほどの参道は、どこか懐かしい雰囲気がいっぱい、軒を連ねるお店は名産品を扱うことはもちろん、店舗自体も木造建築で情緒を感じられるものとなっており、連日多くの人で賑わう。

2. 柴又帝釈天

1629年に創建されたという、長い歴史を誇る柴又帝釈天。正式名称は「経栄山題経寺」で、日蓮上人が自ら刻んだ帝釈天の板仏が本尊になっており、江戸時代から帝釈天の名で庶民に親しまれている。

境内には法華経説法にまつわる彫刻ギャラリーや、美しい日本庭園「邃溪園」がある。映画「男はつらいよ」の舞台になったり、漫画「こちら葛飾区亀有公園前派出所」にも登場している。



3. 寅さん記念館

映画「男はつらいよ」の記念館で、映画の世界をコーナーごとに分けて紹介しており、実際の撮影に使用した「くるまや」のセットに座ってメイキングなどの貴重な映像や実物の衣装・小道具などを観ることができる。

4. 山田洋次ミュージアム

寅さん記念館に併設する山田洋次ミュージアム。山田洋次は映画「男はつらいよ」シリーズの原作・脚本・監督を務め、寅さん記念館名誉館長・葛飾区名誉区民であり、2012年には文化勲章を受章した。

彼が携わってきた数々の作品や映画づくりへの思いがテーマごとにつづられたミュージアム。

その後柴又帝釈天に戻り、
12時の鐘楼の音を聞きながら解散



講師

葛飾区シニア観光ボランティアガイド
かつしか語り隊

主催

船橋市夏見公民館

～夏見公民館事業担当よりご参加の皆様へ～

本日は船橋市夏見公民館主催事業にご参加いただき、誠にありがとうございました。今回の事業はいかがでしたでしょうか。

今回のご感想や、来年度以降このような事業をやってほしい！とのご要望がございましたら是非職員にお声かけいただければと思います。

今後も皆様が楽しめる事業を計画してまいりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

お帰りの際にはお気をつけてお帰りください。

お問い合わせ: 夏見公民館 047-423-5119

Mail: k-natsumi@city.funabashi.lg.jp